
多面的機能支払 メールマガジン

「農村ふるさと保全通信」第47号(2018.8.28)

農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力!

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第47号をお届けします。

今回の活動組織の活動紹介では、「農地を守り、美しい景観づくり」に向けて、集落全戸が構成員となり、センチピードグラスの植栽や農業体験に取り組む組織と、地域住民のつながりを強くするために、水門の塗装や水路の補修などの直営施工や子どもたちへの米作り体験に取り組む組織を紹介します。

事務局からは、イベントの開催報告とジビエに関する情報発信サイト「ジビエト」が公開されたことについてお知らせします。

---第47号の目次-----

1. 活動組織の活動紹介

☆七塚西農地を守る会ななつかにし（広島県庄原市しょうばら）☆

☆水土里ネット南新波推進協議会みなみあらなみ（群馬県高崎市）☆

2. イベントの開催報告！

☆「畦畔雑草対策研修会」の開催報告（新潟県糸魚川市いといがわ）☆

3. ジビエに関する情報発信サイト「ジビエト」が公開されました！

（編集後記）

■ 1. 活動組織の活動紹介(1)

～七塚西農地を守る会(広島県庄原市)～ ■

～地区概要～

中国山地のほぼ中央に位置する田園地帯を拠点に活動。

活動範囲は、田 48.5ha、畑 0.2ha。対象施設は水路 16.3km、農道 1.1km、ため池 9箇所。

～主な取組～

- ◎本組織は、「農地を守り、美しい景観づくり」の目標に向けて、集落全戸が構成員となり、知恵を出し合い、農家の高齢化や担い手不足等の問題に対処するための有効な取組を検討、実行しています。
- ◎例えば、高齢化に伴う草刈り作業の労力軽減のために、雑草を抑える効果のあるセンチピードグラスを農地の法面等に植栽しています。現在、センチピードグラスを 3,000㎡程度植栽し、効果も出てきているため、今後も範囲を増やしていく予定です。
- ◎また、地域と連携し、幅広い年齢層が集まって、田植えや芋掘り等の農業体験に取り組んでいます。これにより、世代間交流を図るとともに、機械を使わない伝統的な農作業を子ども達に継承しており、農業への視野が広がることを期待しています。
- ◎これらの活動が評価され、平成 29 年度中国四国農政局長表彰(優秀賞)を獲得しました。今後も、農地を守り、美しい景観づくりを目指して、地域住民が一体となって活動を行っていきます。



センチピードグラスの植栽作業



農業体験で田植え



農業体験で稲刈り



農業体験で芋掘り

○過去の表彰についてはこちらから!(中国四国農政局 HP)

<http://www.maff.go.jp/chushi/press/nochi/attach/pdf/171219-8.pdf>

【担当部署：庄原市役所 企画振興部 農業振興課 農業振興係】

■ 1. 活動組織の活動紹介(2)

～水土里ネット^{みなみあらなみ}南新波推進協議会(群馬県高崎市)～ ■

～地区概要～

群馬県中部にある高崎市の北西部に広がる平地農業地域を拠点に活動。

活動範囲は、田 31ha、畑 25ha。対象施設は農道 10km、開水路 5km、ため池 1箇所。

～主な取組～

- ◎ 地域の農業者の高齢化や後継者不足の問題に直面している中で、水利組合と町内会が中心となって組織されている「推進協議会」が施設の保安全管理活動や環境保全活動に取り組んでいます。
- ◎ 施設の保安全管理活動では、地域内の老朽化の進んだ施設を対象に、毎年、施設点検を行い、必要な箇所から順次補修を実施しています。水門の塗装や水路の補修などの作業を直営で行うことにより、費用の軽減だけでなく、農業用水路等を自ら管理する意識が高まる効果が現れています。
- ◎ 環境保全活動では、地域内の農地を利用して、地元の小学校の5年生を対象に田植えから稲刈りまでの農作業体験を行っています。収穫したお米は、収穫祭で父兄や組織役員で分け合うほか、学校給食にも提供しています。また、生徒は、米作りを通して学んだことや米作りの歴史等について班ごとにまとめ、体験発表会を行っています。
- ◎ これらの活動を通じて、集落全体としてまとまりが出てきており、地域の将来について話し合う機会が増えました。今後も、子ども達を含めた地域全体で活動に取り組むことによって、地域資源に対する関心を高めるとともに地域住民のつながりを強めていきます。



水路のひび割れ補修



水門の塗装



学校連携で田植え



学校連携で稲刈り

【水土里ネット南新波推進協議会代表 深井喜久司】

■2. イベントの開催報告！

～「畦畔雑草対策研修会」の開催報告(新潟県糸魚川市)～■

7月2日(月)に焼山の里ふれあいセンター(新潟県糸魚川市)において糸魚川市日本型直接支払推進組織の主催による「畦畔雑草対策研修会」が開催されました。

この研修会は、中山間地域において、高齢化に伴い、畦畔の草刈り作業が困難な作業となっている状況を受け、畦畔管理の省力化を目的として開かれました。糸魚川市の中山間地域では、草刈り作業を多面的機能支払交付金の共同活動の一つに位置付ける集落も多く、地元農家など約80名の参加がありました。

研修会では、草刈りの省力化を図る手法として、リモコン式自走草刈り機や自走式草刈り機などの実演と、カバープランツの植栽手法の一つとして、「米ぬかを使用した芝の種子吹付け」作業の実演を行いました。

この研修会を通じて、畦畔の草刈り作業の省力化に向けた取組に拍車がかかり、農業・農村の維持に繋がることを期待しています。



研修の説明



リモコン式自走草刈り機の実演

▽お問い合わせはこちら▽
糸魚川市農林水産課 農業経営支援センター
TEL：025-552-1511
FAX：025-552-7372
E-mail：nourin@city.itoigawa.lg.jp



米ぬかを使用した芝の種子吹付け

■3. ジビエに関する情報発信サイト「ジビエト」が公開されました！■

農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るためには、鳥獣被害等の防止も重要となります。そこで、農林水産省では鳥獣被害防止を支援すると同時に、地域振興にもつながる捕獲鳥獣のジビエ利用を応援しています。

ジビエをもっと身近に感じていただくため、ジビエが食べられる飲食店やイベント情報等、さまざまなジビエの情報を発信するポータルサイト「ジビエト」を開設しました。

詳細はこちらをご覧ください。⇒ <https://gibierto.jp/>

また、8月30日（木）から9月30日（日）まで飲食店でジビエが食べられる「全国ジビエフェア」の開催を予定しています。この機会においしいジビエを楽しんでください。

詳細はこちらをご覧ください。⇒ <http://gibierfair.jp>

【農林水産省 農村環境課 鳥獣対策室】

■編集後記■

先日、何をやるということもなく家で過ごしていたのですが、窓の外に晴れ渡る青空を見て、急に走ろうという気になり、真夏の昼間に駆け出してきました。運動不足の私は、10分もたたないうちに体力の限界を感じましたが、甲子園で真っ黒に焼けた球児達の最後まであきらめない姿が目につかび、目標地点まで止まることなく走り続けました。目標地点の川沿いに着いたときには、意識が朦朧とし、あやうく熱中症になるところで、無茶は禁物だなと改めて実感しました。まだまだ暑い日は続きますので、運動される場合はお気を付け下さい。

◇バックナンバー◇

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html



バックナンバーはこちらからもご覧いただけます！→

◇平成30年度多面的機能支払交付金のあらまし◇

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai.html

◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。どんどんご活用ください！！

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/H29/pdf/logo.docx



高めよう 地域協働の力！

◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから！

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしております！！

tamen_ml@maff.go.jp

【発行】

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局整備部農地資源課

多面的機能支払推進室（担当：大木、藤田）

TEL：03-3502-8111（内線5493）
